

すわみつえ通信

No.55

日本共産党鴻巣市会議員 謙訪 三津枝

2018年 12月17日(月)



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL : 596-9440 FAX : 507-4151
携帯 : 080-5039-2785
E-mail : mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページを改修中です。
公開まで暫くお待ちください

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

市議会 12月定例会
一般質問で取組みます

総合病院誘致は
どうなる



小規模校で子どもたち一人 ひとりに行き届いた教育を

11月8日開催の「県央地域保健医療地域医療構想協議会」で病院整備計画の公募に社会医療法人・壮幸会が箕田地内に120床の病院計画を応募し、来年1月の埼玉県医療審議会で審議されることが発表されました。

当市が求める小児科と産婦人科が

含まれていない計画ですが、病院ができる兆しは嬉しいことです。この間、

病院誘致に市はどう取り組んできたか、また、現在積み立てている「鴻巣市

地域医療体制整備基金」の使途を質していきます。

市教育委員会は笠原小学校の保護者に11月16日付で「今後の笠原小学校について」と

いう文書を出しました。期日は11月29日と30日で各保護者会に続けての開催です。あまりにも突然で、しかも内容は

「児童数減少で複式学級を視野にいれなければならない」というものでした。

笠原小学校においては自治会の住民の方々が、地域の「ハート」の核であり、防災拠点ともなる学校を守る、何よりも子どもたち一人ひとりが大事にされる教育をと、「適正配置」の名の下の「学校統廃合」に反対しています。

すわみつえ議員も2年間に亘り議会で市民の声を届けてきました。地域住民の意見を聞かずに保護者との意見交換だけで、一方的に進めようとする市政を質していきます。

現地を調査したところ、朝の7時15分から7時20分の5分間で、各登校班の100人を超える児童が橋を渡り、行者を分けられないか」という意見をいたしました。



12月9日(日)に市民活動センターで行われた「子育てフェスタ」に参加し、ボラティアで関わる「わくわくサロフ」のブースで赤ちゃんからちょっと大きい子たちの手形・足形取りのお手伝いをして楽しませていただきました。



12月5日7時20分の須崎橋の状況

交通指導員の方と保護者の方たちが子どもたちの安全を見守っていました。道路拡幅と洲崎橋に歩道橋の設置を求めていきます。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

経済 アングル

しんぶん赤旗 11月27日付

政府・財界の社会安全保障
バッシングが常軌を逸し
ています。

「受益と負担の対応関
係が断ち切られている」。
「将来世代へ負担が先送
られている」。「我が国財
政の悪化の最大の要因」
財政制度等審議会（財
務相の諮問機関）が20日
まで述べました。

代」だ今まで述べました。
まるで社会保障給付を受
ける国民に個人的遺恨を
抱いているかのような悪
罵の投げつけ方です。

建議を作成した財政制
度分科会の責任者は経団
連前会長の榎原定征・東
レ相談役です。資本の代

「平成財政」の真の姿

税負担も軽減されてしま
ません。同分科会の参考
資料からも、高所得者の
負担を低・中所得者に転
嫁したのが「平成」という
時代」だったことは明白
です。

間、法人税率は37%、5%から23・2%へ、所得税の最高税率は60%から45%へ下げられました。

弁者の目には現実かゆがんで映るのでしょうか。年金の支給開始年齢は先送りされて支給額は減られ、医療・介護の自己負担は増やされてきたのが「平成という時代」でした。「受益」は拡大しました。この円)でほぼ横ばいでした。しかし内訳を見ると、消費税収が4・6兆円から17・6兆円に13兆円も増加。他方で法人税と所得税の税収は44・4兆円から31・2兆円へ13・2兆円も減りました。

2019年度の社会保障費削る

安倍政権が2019年度予算案で、高齢化などに伴う社会保障費の「自然増」を5千億円未満に抑え分を5千億円未満に抑えます。この結果、「自然増」削減を強行。2019年度は、薬の公定価格（薬価）の値下げ（約400億円）▼一定所得以上の40～64歳が支払う介護保険料の段階的引き上げ（400億円以上）▼中小企業のものを進めています。2019年度に見込んでいる千億円の伸びを一千億円超も削り込むものです。

社会保障費の自然増分は、医療・介護など現行制度を維持するのに必要な予算です。「にもかかわらず安倍政権は2012年末の減を迫っています。

従業員が加入する「協会けんぽ」の国庫補助削減（数百億円）一で計一千億円程度を捻出する考え方です。財務省はさらなる削減を迫っています。

A large, white-bordered speech bubble on a black background. Inside the bubble, the text 'ちょっと待った!!' is written in a bold, rounded font. To the right of the bubble, the word 'やっちゃんいけない' is written vertically above a large, bold, black rectangular box. The box contains the text '消費税10%' in white. Below the box, the text '今こそ声をあげよう' is written in a large, bold, black font.

社会保障のためと いいながら 大企業減税の穴埋めに

消費稅
372兆円

法人3税
減税
291兆円

政府は消費税増税分を「教育や子育てに回す」としています。しかし、消費税増税は、子育て世代を含めた全世代の暮らしを直撃します。政府はこれまででも、消費税増税は「社会保障のため」と言ってきましたが、社会保障は良くなるどころか負担増・給付減の改悪が続いています。消費税収はどこにいったのかー。消費税収の約8割は、大企業減税などによる法人税減収の穴埋めに消えていきました。

「社会保障のため」と消費税が導入されて30年。この間、国民から吸い上げた消費税総額は372兆円に上ります。ほぼ同時期に法人3税は291億円も減税されています。

医療も介護も年金も福祉も悪くなるばかりです。財源というなら、これまで優遇され、莫大なもうけを上げている大企業やカルロス・ゴーン氏のような富裕層に増税すれば、10%増税分の4兆6000億円はクリアできます。消費税10%をトップさせましょう。

自然増1000億円超圧縮へ

若田部昌澄氏副総裁は5日、新潟市で講演し、2019年10月に予定される消費税率引き上げに関する「経済・物価に対するリスク要因だ」と述べ、景気悪化の可能性に警戒感を示しました。

若田部日銀副総裁が警戒感

強調。「物価下落が加速せず緩やかなものであっても、経済に大きな負の影響をもたらし得る」と述べ、大規模金融緩和を今後も継続していく考えを明らかにしました。